

悪性胸膜中皮腫における術後長期生存例の臨床像についての検討

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	悪性胸膜中皮腫における術後長期生存例の臨床像についての検討
倫理審査 受付番号	第3921号
研究期間	2021年11月実施許可日～2024年10月31日
研究対象情報 の取得期間	下記の期間に当院 呼吸器外科を受診され、悪性胸膜中皮腫に対して集学的治療の一部として手術を受けられた方 2006年 1月 1日～2016年 6月30日
研究に用いる 試料・情報	カルテ情報
研究概要	<p>(研究目的・意義)</p> <p>悪性胸膜中皮腫は予後不良の悪性腫瘍ですが、手術を含めた集学的治療を行うことで長期生存する症例も認められるようになってきました。長期生存が得られる症例の臨床像はあまり明らかになっていないので、当院でのデータベースを用いて長期生存した症例の臨床像を明らかにします。あまり長期生存した症例のデータベースが世界的にも存在しないため、本研究成果が、集学的治療を行う症例を選択する際の一助となる可能性があります。</p> <p>(研究の方法)</p> <p>長期生存例と予後不良群の2群に分け、各症例の臨床情報（臨床経過、診断方法、身体所見、画像所見、病理所見）をカルテより抽出し、比較することで予後と関係している因子を解析します。</p> <p>(個人情報の取扱い)</p> <p>収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形でいきます。ただし匿名化する前に研究参加を拒否された方は本研究の対象から除きます。</p>

本研究に関する
連絡先

兵庫医科大学病院 呼吸器外科
長谷川 誠紀（研究責任者）
近藤 展行（研究担当者）

TEL | （平日 9 : 00~17 : 00） 0798-45-6885
（上記時間以外） 0798-45-6111
